

科目名	経済学 A	科目コード	20441
-----	-------	-------	-------

学科名・学年	全学科・5年（プログラム2年）
担当教員	佐藤 公俊（一般教育科）、鈴木 敏紀（上越教育大学）
区分・単位数	履修単位科目・選択・1単位
開講時期・時間数	前期，30時間【内訳：講義 30】
教科書	ポーキングホーン、トムソン著『女性経済学者群像』御茶の水書房（2008）、 西川潤著『世界経済入門』岩波書店
補助教材	プリント、ビデオ、ウェブ、プレゼンテーション
参考書	授業中に指示

【A．科目の概要と関連性】

社会経済体制としての資本主義経済や市場経済と外部との関係を考察し、社会経済についての alternative な市場至上主義的でない諸理論を検討し、社会システムの経済体制論の設立につとめる。社会民主的な福祉国家論などを検討し将来のあるべき社会体制を展望する。

グローバル化と地域化を概観し、世界貿易、多国籍企業、国際通貨体制、人口・食糧・エネルギー・資源の問題、環境問題、南北問題、地域紛争問題を考察する。

関連する科目：法学、社会学、歴史学（以上前年度履修）、経済学 B（後期履修）

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(A)と主体的に関わる。この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
現代の社会経済の基本構造についてのキーワード、概念、論理、理論を理解する。	20%	a1
グローバル化と世界経済の構造、およびそこから生成する諸問題を理解する。	30%	a1
古典的な経済学の現代的な意味を把握する。フェミニズムやジェンダー、福祉国家論などの意味を把握する。	50%	a1

【C．履修上の注意】

新聞記事の経済欄、社会欄に目を通しておくこと。それとともに将来自分が社会人になった場合のことを想定して、自分がどのような社会的立場、ひいてはどのような世界的立場にあるかを考える習慣を身につけてもらいたい。

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

定期試験【60%】、レポート等【40%】

【E. 授業計画・内容】

前期

回	内容	備考
1	ガイダンス：市場経済と外部、グローバル化	担当：佐藤
2	社会経済理論の成立、アダム・スミスの市民社会理論	担当：佐藤
3	グローバル化と地域化	担当：鈴木
4	貿易の流れと自由貿易協定	担当：鈴木
5	多国籍企業と海外投資	担当：鈴木
6	国際通貨体制と円	担当：鈴木
7	グローバル市民社会と資本主義の変貌	担当：鈴木
8	アダム・スミスの娘たち：古典派の時代におけるフェミニズム：マーセット、マルチノー、フォセット	担当：佐藤
9	生産の技術知識と企業組織：マーシャルの産業内部的外部性	担当：佐藤
10	生産価格と外部：マーシャル、スラッフア：外部からの外部性の問題	担当：佐藤
11	市場経済と外部：外部からの外部経済と剰余：ピグウ 企業と官僚制：外部からの外部性による不完全性、企業と組織：マックス・ウェーバー	担当：佐藤
12	結合生産、固定資本、企業資本：不完全生産価格均衡：スラッフア、スティードマン	担当：佐藤
13	市場経済の外部（制度、公共財、社会的共通資本、自然的共通資本、グローバルコモンズ、世界的公共資本）：宇沢弘文	担当：佐藤
14	地球環境資本とサービス：環境白書、国連報告	担当：佐藤
-	前期末試験	試験時間：80分
15	試験解説と発展授業	担当：佐藤